

佐渡米通信 こめ〜る 4月号

☆種蒔き猿が出現で米づくりスタート!! ☆

佐渡で1番高い金北山(きんぼくさん)に冬の間積もった雪が溶けてきました。雪が溶け始めると、猿が種蒔きをしているような姿が浮かび上がります。まるで猿が籠を持って種を蒔いているように見えるので、島民は「種蒔き猿」と呼んでいます。佐渡の民話では「大雪の年、腹をすかした山猿が人里に下り、村人から食べ物を買った。お礼に毎年種蒔きの時期を教えることを約束し、ある日種を蒔く形で現れ、それをみて種を蒔いたら豊作に恵まれた」と語り継がれているのです。今年も多く生産者がその教えのもと種蒔きを行ったようです。



☆耕起指導会☆

4月初旬に、新穂地区の圃場で耕起指導会が開催され、80名の生産者が参加しました。今回は春作業で大事な耕起作業について説明をしました。講師の方からは「早い時期に圃場へ入水をせず、しっかりと圃場を乾かしましょう! 適正な時期(4月15日頃)に圃場へ入水することで、苗の根腐れで生育不良に繋がらないようにしましょう!」と指導がありました。



いよいよ田植えまで半月余りとなりましたが田植えに向けた準備をしっかりとし、今年も美味しい佐渡米をお届けできるよう生産者と共に努めてまいります。



☆島内の各集落で島祭り☆

4月に入り、島内の各集落で島祭りが行われています。このお祭りでは若者達が鬼太鼓という伝統芸能を演舞しながら一軒一軒門付けして回り、各家庭がもてなす料理やお酒を堪能しながら五穀豊穡を祈願します。早朝から夜遅い時間まで、島内各地で鬼太鼓の音が響き渡っています。

☆各集落の鬼太鼓の様子☆



多くの集落で行われている基本的なもので
鬼1匹が太鼓の音と掛け声に合わせて舞う

佐和田沢根地区の鬼太鼓



鬼と2匹の獅子が
太鼓の音に合わせて掛け合いを行う

新穂舟下地区の鬼太鼓



太鼓の音と笛の音色に
合わせて2匹の鬼が同時に舞う

畑野小倉地区の鬼太鼓

☆トキ情報☆

4月14日に、佐渡市の野生下で、今季初めてトキのヒナ2羽が誕生しました。

野生下でヒナが生まれるのは5年連続となります。



生まれて間もないトキは頭が黄色くなっています。

☆「トキ野生復帰2015」☆ 環境省がトキ野生復帰の取組経過から定着するトキの姿をまとめた「トキ野生復帰2015」が制作されましたので、下記のURLよりご覧ください (<http://youtu.be/LukeeUYpPH4>)。